



Edo



受贈記念 赤木清士コレクション
—江戸から明治へ—
古伊万里に魅せられて



Meiji



記念講演会

赤木清士コレクションを楽しむ

—江戸から明治の肥前磁器を中心に

2021年
7月10日
(土)

時間 / 13:30 ~ 15:00 (開場は13:00)

講師 / 鈴田 由紀夫 氏 (佐賀県立九州陶磁文化館 館長)

会場 / 兵庫陶芸美術館 研修棟 1階 セミナー室

詳しくは裏面をご覧ください

赤木清土コレクションを楽しむ

－江戸から明治の肥前磁器を中心に

記念講演会

赤木清土コレクションは、江戸後期から明治期に有田（佐賀県西松浦郡有田町）や志田（佐賀県嬉野市）などで作られた肥前磁器を中心としたコレクションです。

記念講演会では、作品の受贈にあたり本コレクションの作品整理にご協力いただいた佐賀県立九州陶磁文化館の鈴田由紀夫館長に、時代とともに変化していく図様の変遷や、新たな装飾技術の導入などにも触れながら、赤木清土コレクションの楽しみ方についてお話しいたします。

日時／7月10(土)13:30～15:00（開場は13:00）
講師／鈴田由紀夫氏（佐賀県立九州陶磁文化館 館長）
会場／兵庫陶芸美術館 研修棟1階 セミナー室
定員／110名（事前申込制・先着順）

参加費／無料 ※ただし、本展観覧券（当日半券可）が必要です

◆お申込みについて

ご参加には事前にお申込みが必要です。
チラシ下部の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX
もしくは郵送でお送りください。
お電話または当館ホームページからもお申込みいただけます。
※お申込後のキャンセルはご遠慮願います。
やむを得ずキャンセルされる場合は、必ずご連絡ください。

鈴田由紀夫（すずた・ゆきお）

1952年佐賀県生まれ。1977年九州芸術工科大学卒業、1979年同大学院修士課程を修了。佐賀県立九州陶磁文化館学芸員を経て、2010年より館長。担当した展覧会に「近代の九州陶磁展」（1983年）、「柴田コレクション展」（1990年から9回にわたり開催）、監修した展覧会に「明治有田 超絶の美 万国博覧会の時代」（2015年から各地を巡回）など。共著に「海を渡った日本のやきもの」（ぎょうせい、1985）、「伊万里青磁」（古伊万里刊行会、1990）、「やきもの名鑑 4色絵磁器」（講談社、1999）など。

[お申込・お問合わせ先]

兵庫陶芸美術館 学芸課
〒669-2135
兵庫県丹波篠山市今田町上立杭4
TEL 079-597-3965
FAX 079-597-3967
HP <http://www.mcart.jp>



[鉄道・バスをご利用の場合]

- JR福知山線「相野駅」下車（大阪駅から約50分）
駅前から神姫グリーンバス「兵庫陶芸美術館」「こんだ薬師温泉」
または「清水寺」行き乗車約15分、「兵庫陶芸美術館」下車
※相野駅発バス時刻 9:35、10:20、13:00、15:45、16:47
土・日・祝は10:44、11:44、14:00が増便（2021年4月現在）

[自動車をご利用の場合]

- 舞鶴若狭自動車道・三田西ICから約15分、または丹南篠山口ICから約20分
- 中国自動車道・滝野社ICから国道372号を東へ約30分
- 阪神方面から国道176号線を北上し、三田市四ツ辻信号を左折約15分
- 駐車場無料（敷地内 普通車58台分）、大型可

[その他]

- 無料貸出有（車椅子4台、ベビーカー2台）

◆参加申込書 | 2021年7月10日（土） 記念講演会「赤木清土コレクションを楽しむ

－江戸から明治の肥前磁器を中心に－

*新型コロナウイルス感染拡大等によって、変更・中止となる場合があります。お申込み時に記入された連絡先（電話・FAX・メールのいずれか）にお知らせしますので、必ず日中に連絡のとりやすい連絡先を、お間違いのないようご記入ください。

ふりがな 氏名	*必須	申込人数	*必須	住所 名 (市区町村まで)	*必須	都道府県	市区町村
連絡先	*必須	*FAXでお申込みの方は必須		E-MAIL			
TEL	— —	FAX	— —				

【個人情報の取扱い】本参加申込に係る個人情報は、お客様への「当館からの連絡・お知らせ」と、新型コロナウイルス感染拡大防止に必要な場合の関係機関への情報提供のみに活用し、これらの目的以外には使用しません。